

桜 島

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

昭和火口では、噴煙の高さは火口縁上概ね 100m で推移しています。爆発的噴火¹⁾は、6日 11 時 25 分以降、発生していません。

昭和火口及び南岳火口から 2 km 程度の範囲では噴火に伴う噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び火山れき(小さな噴石)に注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)が継続しています。予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴煙活動の状況

昭和火口では、6日 11 時 25 分に爆発的噴火が発生し、灰色の噴煙の噴出が 12 時 15 分まで続きました。それ以降は白色の噴煙を上げていますが、噴火は発生していません。

7～8日の昭和火口の噴煙の高さは火口縁上概ね 100m で推移しています。また、桜島南岳山頂火口の噴煙は、100～800m で推移しましたが、7日 12 時 12 分に火口縁上 900m の高さで乳白色の噴煙がありました。

・昭和火口周辺の状況(図 1、2)

6日 11 時 25 分に発生した爆発的噴火に伴い桜島口に近い身代湾付近で 2～3 mm 程度の火山れき(小さな噴石)が降下しているのを確認しました。

なお、参考までに 6日 11 時 25 分の火砕流の流下範囲を鹿児島県地域防災計画より抜粋した鹿児島市桜島火山防災マップ島内版上に加筆して示します。

・地震・微動活動の状況

火山性地震及び火山性微動の発生状況に特段の変化はみられず、少ない状態が続いています。

1) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。

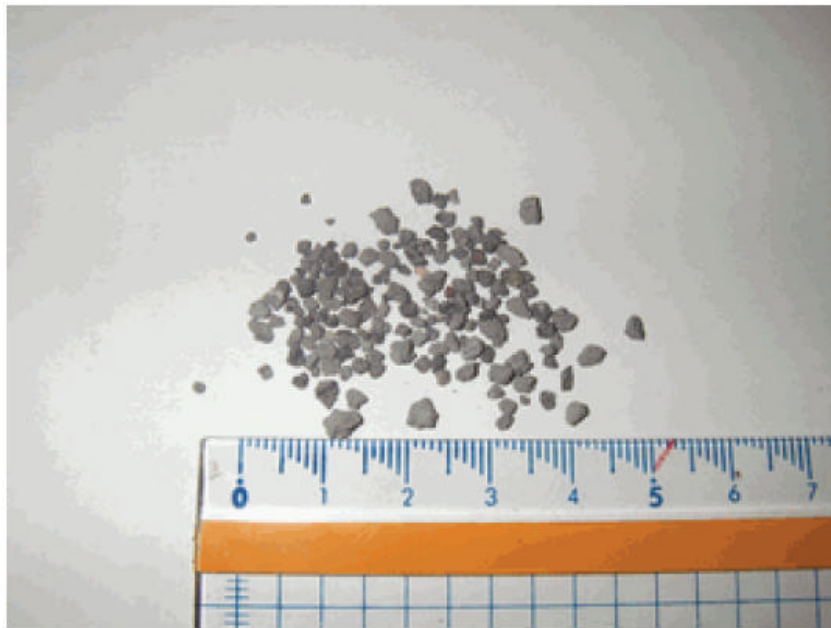


図1 身代湾付近で確認した火山れき
平均的には2～3mm程度。大きい物では5mm程度。



図2 桜島 2月6日11時25分の火砕流流下範囲
鹿児島県地域防災計画より抜粋した鹿児島市桜島火山防災マップ島内版上に加筆して示します